

令和5年 2月 6日

保護者様

アソカ幼稚園長 小林 淳一

令和4年度 アソカ幼稚園 「園評価」結果及び保護者感想報告

寒冷の候、日頃より本園教育にご支援・ご協力をいただきまして、感謝申し上げます。さて、令和4年度園評価・保護者アンケート感想のご提出ありがとうございます。つきましては、結果をご報告させていただきます。皆様から頂戴した結果や感想を来年度の園の教育に活かしていきたいと思っております。

1 対象者内容

対象者	人数	回答数	回答率	実施期間
教職員	21名	21名	100%	令和4年12月2日～ 12月10日
全保護者	園児数104名 (世帯数96名)	71名	74%	令和5年1月13日～ 1月23日

★プレ保育どんぐり組は感想のみ 17人

1 教職員 自己評価

A 十分 B おおむね C ちょっと足りない D できていない E この設問に該当しない

【I 教育目標・教育方針・教育課程・指導計画】

		A%	B%	C%	D%	E%
1	園の保育目標(いのちを大切にすることを意識して子供たちを育てようとしている。	58	42	0	0	0
2	月・日保育計画案は、幼稚園要領、保育の木をもとに作成している。	29	4	0	0	67

【Ⅱ 教育の内容・方法・教育環境】

1	勉強や遊びを通してルールを学んだり、我慢したりといった経験を積めるような工夫をしている。	51	41	4	0	4
2	子どもの発達を考慮し、興味・関心に応じた保育が行われるよう心がけている。	43	53	0	0	4
3	友達や他学年とのふれあいなどを通して、豊かな人間関係を育てようとしている。	49	43	4	0	4
4	一日の生活の基盤となる(手洗い、排泄、あいさつ、片付け、クツそろえ)の基本的な生活習慣を指導・サポートしている。	39	53	4	0	4

【Ⅲ 教師の役割・資質向上】

1	一人ひとりを大切にした教育を心がけている。	57	43	0	0	0
2	保護者に子供の様子を話したり、クラス通信などで知らせたりして連携をとっている。	34	38	9	0	19
3	研修会などに進んで参加したり、自ら学んだりして教師力を高める努力をしている。	43	10	19	0	28

【Ⅳ 運営管理】

1	園児や保護者のことを園の外で話題にしない。	77	23	0	0	0
2	個人情報等の管理は間違いのないように行っている。	71	9	0	0	20
3	他の職員と互いに認め合い、協力して仕事に取り組んでいる。	67	33	0	0	0

2 保護者評価

A 十分 B おおむね C ちょっと足りない D できていない E わからない

		A%	B%	C%	D%	E%
1	「いのちを大切にする」という園の保育方針のもと、保育に取り組んでいると感じる。	76	23	1	0	0
2	一人一人を大切にされた保育が行われている。	67	32	1	0	0
3	子どもの発達を考慮し、興味・関心に応じた保育が行われている。	64	34	0	0	2
4	クラスの友達や他学年とのふれあいなどを通して、豊かな人間関係を育てている。	77	23	0	0	0
5	園だよりやクラス通信・ホームページ・連絡アプリなどを通して、幼稚園の情報を、適切に伝えている。	75	24	1	0	0
6	園内や教室の環境・安全整備や美化に努めている。	74	25	0	0	1
7	コロナについての対策や対応が適切である。	62	31	3	1	3
8	幼稚園(教職員)の保護者への対応は適切である。	74	25	1	0	0
9	くじら組利用者のみ記入 安全・安心な預かり保育(くじら組)が実施されている。	75	24	1	0	0

3 保護者感想★一部抜粋

○年長組

・年長になって初めて登園時に泣いてしまうようになって、どうしたらよいのか分からなかったが、さや先生始め先生方が気にかけてくれて心強かった。家での様子やさや先生から聞く幼稚園での様子が全く違うのでお迎えの時にエピソードを聞くのが楽しみだった。どんぐりクラスでの日々が昨日のここのようであったという間に卒園となりさみしい。面談の時さや先生より「安心して小学校に送り出せます」との言葉をもらい嬉しかった。

・印象に残っていることの一つとしてお迎えに行くと、私の顔を見て泣き出しそうな顔をしたことだ。理由を聞くとお友達があそぶ約束をしたのに他の子とずっとあそんで、自分ことを忘れてしまったかもしれないと悲しくなったからだという。それまでは「あそんでくれないなら他のことをするからいーもーん」とマイペースなところがあり、逆に人の気持ちを察することをしない子だったのだが「相手の子が自分のことを忘れたかも」と相手の立場に立って考えることが出来る様になったんだなと成長を感じた。次の日きちんと自分たちで仲直りも出来た様だ。園での行事もひとつひとつがとても大きな思い出だが、日頃の生活のなかでの出来事によって成長し、その節目節目が、運動会や劇遊び発表会なんだなと感じた。2月の「月のうさぎ」ではどんな成長した姿を見せてくれるのかと今から楽しみだ。

・運動会も遠足も3年間内容が変わらず行事を見る側としては新鮮みに欠けた。先生はお迎えの時にいつもその日あったコメントをくれて園での様子が分かりやすく安心できた。心配なことを伝えたときもその後も気にかけて見てくれていたのが分かりこちら先生には安心して任せられた。

・今までコロナがあったため、初めて保育参観で普段の幼稚園生活を見ることができよかった。先生たちの色々な働きかけで、自分で出来ることが増えてとても自信に繋がった。帰りのお迎えの時に我が子のエピソードを沢山話してもらいとても嬉しかった。そして何よりもたくさん相談に乗ってくれてさや先生でよかったと感謝している。

・年長になってから色々な面で成長を感じる事が出来た。1番驚いたのは年少・年中と全くやる気のなかった運動会が年長になって全く別人になったことだ。かけっこもしっかり走って見事1位。ほがらか森もみんなと一緒に踊っていて感動した。劇遊び発表会もしっかり大きな声でセリフを言えていて家族で驚いた。月のうさぎも楽しみだ。

・アソカまつりもお餅つきも一度も経験していない今のきく組さん。お楽しみ保育でシーパラから園に戻った後かき氷をみんなで食べられたことが良かったな

と思う。食べ物系のイベントが出来ない中で、同じものをみんなで「おいしいね」って言い合いながら食べる姿が見られて親も嬉しかった。凝り性の息子が竹馬、うんていに、夢中になった時、永藁先生が「この集中力は応援したい」と根気強く練習に付き合ってくれ、本人も手にまめを作って頑張っていた。じっくり本人が納得出来るまで寄り添ってもらえる環境に感謝したい。運動会では感染状況が落ち着いたことから市外に住む祖父母が参観でき、やっと目の前で見られた孫の晴れ舞台に感激していた。

・秋の運動会、劇遊び発表会の練習を通して色々なお友達と関わる機会も増え、いい経験が出来た。歌やダンスを覚えて練習するのが好きな様で、朝は弱いが次の月のうさぎも頑張りたいと早起きしている。動物探検隊で学習したことを行ってからしばらく経ってもよく覚えていて、動物園に家族で行った時に教えてくれたりして、子どもの記憶力のよさに驚かされた。

・昨年よりも子どものやりたいとする気持ちが強くなったと思う。特に劇遊び発表会。やると決めたら最後まで頑張る姿に成長をととても感じた。ただやるのではなくどうしたら良くなるのかを自分なりに考えてやっていた。

・運動会にしても劇遊び発表会にしても、たんぼぼの頃から振り返ると本当に成長したものだと、感じた。動物園はそんなに何度も行って楽しいのかなと思ったが子どもには毎回発見があるようで、これで最後という日は非常に残念がっていた。また、家ではまだまだ幼い子どもだが、先生から園での様子を聞いて、色々頑張っていることを知り、不安だった小学校生活に期待も感じている。

・いつも楽しそうに出かけてくれて良かった。

・入園以来、様々なイベントが感染症対策で制約を強いられてきたなか、本年度は以前のようにイベントが実施され子どもたちの思い出になったと感じる。友達との遊びや出来事について話してくれる内容も、色々な経験をしてきているなど感じる。本年度も子どもの成長を感じることができ先生方のお陰だと思っている。アソカ幼稚園で得た経験を活かして小学校でも明るく楽しく過ごして欲しい。

・毎日楽しく幼稚園に通ってくれるので安心して仕事をする事が出来ている。印象に残っていることは劇遊び発表会で楽しんでパパゲーノ役をしていたところだ。

・まだまだコロナが落ち着かないなか、対策をしながら色々な行事や保育参観等子どもたちの様子を見られる機会を作ってくれて有り難い。年長さんは一人で色々なことをしっかり出来る様に、年少さんは毎日楽しく過ごせるように幼稚園で沢山のことを学べたと思う。家では見せない姿も幼稚園では見せてくれて先生方が教えてくれたことを知ることが出来た。劇遊び発表会や運動会では子どもたちが一生懸命練習した成果を友達と一緒に見せてくれて感動した。

・長男はプレも含めあつという間の4年間だった。月齢も低いこともあり他の子よりも発達が遅めだったので、初めは不安や心配ごとばかりだった。年長に上がり出来る様になったことも増え成長を感じ、本人も楽しく過ごせているようで安心した。保育参観も行われ日々の保育の取り組みを見られる機会があつて良かった。

・年長になって大きな声で挨拶ができるようになり、イベントの時には頑張つて取り組んでいると伝わってきた。劇遊び発表会では自分でやりたいといった役を一生懸命練習して本番ではしっかりとやりとげ、自信に繋がつたと思う。きく組にポストが出来た時には、たんぽぽさんにお手紙を出したいと書いてお返事をもらい他学年とのふれあいも楽しんでいた。この1年ぐんとお兄さんになった。

・毎朝ベソをかきながら登園するもイベント前や日常を良く話してくれる。どの話しも楽しいこと嬉しいこと面白かつたことなので聞き流しがちで聞いてしまっている。あつという間の3年間(長女から数えると7年間)コロナなどが有り色々なことが変わってしまい、親からしてみれば残念な思いもあつたが子どもたちは常に全力で可愛くて愛おしい姿を見せてくれた。

・年長になり反抗期に親も戸惑つたがさや先生に逐一相談してはアドバイスをもらった。忙しい中親身に相談に乗ってもらい本当に感謝している。お迎えの時日頃の些細な出来事も報告してもらい、なかなか見られない園の様子を知ることが出来嬉しかった。年長という難しい年頃ではあるがさや先生がいたので安心出来た。

・3年間を通してとても仲の良い友人も出来嬉しい限りだ。ほがらか森はうめ組の時から希望していた妖精の役をやる事が出来かなり真剣に練習していた。行事で印象に残っていたのは意外にも、お楽しみ保育のようだ。物心つく頃にはすでにコロナでまつりの経験もなくかき氷をみんなで食べたことが嬉しかったようだ。3年間本当にあつという間だったがこちらが驚くほど色々なことが出来る様になった。

・劇遊び発表会でハンドベルを上手に演奏出来たのを見て感動した。年長組になってから特に自己表現が活発になり成長が見えた。自宅でも園での出来事をしっかりと説明出来る様になりよく話してくれる。シーパラダイスや動物園探検隊も今年度は実施され息子にとってよい思い出になったと思う。アソカ幼稚園には長男の入園から始まり長女二男と6年間お世話になった。先生方のあたたかい指導のお陰で子どもたちも楽しく幼稚園に通うことが出来たと思う。

・息子の好きなこと得意なことを中心に先生方が話しを聞いてくれ、手伝いを依頼してくれた。その後たくさんほめてくれたことで、誰かに頼りにされること、そのことに答えようとする気持ちや自分の好きなことが誰かのためになる

という自信が持てたように思う。どんぐりからスタートした園生活は今日までずっと先生方に支えてもらってばかりだ。泣き虫の息子だけでなく自分の育児能力の低さに落ち込み焦ってばかりだった私も、先生方の言葉に何度も救われた。特にりか先生には感謝してもしきれない。

・この1年の成長ぶりには目を見張る部分があった。親の心配をよそに意外と何でも参加できているということが多く先生方のサポートと幼稚園での積み重ねで自信がついてきたように思う。本当に心配していたがそれなりにマイペースで成長していることが嬉しく、先生方のお陰だと思う。

・友達とより親しくなった。自分の意見を言うようになった。園外活動は子どもの記憶に強く残るよい活動だ。春の遠足がすごく楽しかったようだ。

・年長さんになってからの成長はとても驚いた。運動会の「ほがらか森」劇発表の「魔笛」の練習を毎日楽しそうにやっている姿、「今日はこんなセリフを覚えたよ」とにこにこ教えてくれる姿を見て、頼もしい気持ちになった。また、先生方が熱心に指導してくれるのを見て、有り難く感じたし、一緒になって懸命に行事を盛り上げていこうという思いが伝わるが多々あった。また、夏のお楽しみ保育もコロナ禍のなかで、できる限り子どもたちが楽しめることを考えてくれ、帰ったときの縁日は、とても素敵なサプライズになったのではないか。友達の話ちゃんと聞く、友達の気持ちを考えてあげる、けんかしても解決策を考える…等。相手を思いやる気持ちをアソカで十分に学んでこられたと思う。恥ずかしがりやで大勢の前だと普段の自分を出せなかった子が年長になり堂々と皆の前でダンスを発表出来る様になったのも、伸び伸びと自分のペースで成長出来る様に見守ってくれた園の先生方のお陰だ。

〇年中組

・劇遊びで大きな声でセリフを言えていたことに驚いた。たんぽぽさんの時は幼稚園に行きたくないと言っていたのが嘘のように頼もしくなったなと思った。

・土日「明日は幼稚園」と聞いてくるほど、毎日幼稚園に行くのを楽しみにしている。世間での虐待のニュースを見ると怖くなるが毎日楽しく通えていることに感謝する。年少の時に苦手だったことに粘り強く取り組むことが出来なかったが、年中になってだんだんと取り組めるようになり成長を感じた。家では毎日幼稚園で覚えたことや出来る様になったことを見せてくれる。

・徐々にではあるが、家のお手伝いをするようになり、着替え、歯磨き等も自分でするようになり、成長感じている。普段の幼稚園での生活は見えないところがあるので参観や劇遊び発表会、運動会などを企画してもらい有り難く感じる。

・コロナ禍のなか幼稚園での生活も2年が過ぎようとしている。子どもの体調の変化などに敏感になりすぎて正直疲れてしまうこともあったが、幼稚園での出

来事やお友達とのやりとりなどの話を聞いたりして子どもは日々楽しく生活を満喫していると感じている。歌やダンスなど体を動かすことが大好きな娘は運動会での「ほがらか森」のちょうちょ役をお友達と一緒に出来たことが、とつても嬉しかったようだ。その時の衣装は大事に取ってある。「いのちを大切にする」という保育をこのオペレッタを通じて理解したようで、少し怖がっていたカブトムシやダンゴムシなどが触れるようになり、「いのちで できている」と言うようになった。園での生活も早いものであと1年となり、友達との思い出をたくさん作って欲しいと思っている。

・今年もコロナが心配な中ではあるが、色々なことを経験して成長できた、1年だったと思う。特に運動会のほがらか森では、練習一発表を通して成長を感じることが出来た。

・仲の良い友達ができ毎日楽しく通うことができた。自由遊びが好きでVoiceの時間は苦手な様だ。年長の劇遊びはもう演目が決まってお済み残念な気もする。その時の子どもたちの様子を見て先生が演目を選んでくれて子どもたちがのびのびと演じるのが楽しみだったからだ。園外保育に沢山連れて行ってもらえて有り難かった。ログハウスが気に入って、家族でも行ってきた。野毛山での学習が楽しみだ。

・年中では運動会や劇遊び発表会で成長を感じた。今まではお遊戯など大勢の前で踊ったり、話したりするのが苦手だと思っていたが年中の発表会では大きな振り付けや声で発表する姿が見られた。本人も「緊張しなかった。先生からほめてもらった。」と話していた。親としても嬉しい。こういったイベントを通して、みんなと頑張った経験やほめてもらったことで本人の自信に繋がっていると感じる。また、日常での生活でも先生方の優しさのある関わりや言葉が子どもの言葉から聞かれるので嬉しく思う。

・年少の頃に比べ、幼稚園に通うための準備を自ら行うことが出来、幼稚園に通うことが楽しいとい気持ちが伝わってきた。降園の途中で今日あった出来事や誰とどんなことをして遊んだか、話してくれる。その話を聞くと先生方や友達との関係性を深めることが出来た一年だったのかなと思った。幼稚園ではまだまだ甘えや先生方から離れない場面があるかと思う。自分の気持ちを上手に伝えることが出来ず泣いてしまうこともあると思う。年長に進級し幼稚園生活のなかで色々な経験をし、成長して行ければと思う。

・行事が少しずつ増え子どもたちが、親から離れた場所でどのように活動をしているのか様子を見ることができ、成長を感じられた1年だった。娘は年中になってからも毎日泣きながら通い先生方には沢山助けてもらった。自由奔放で頑固な性格は年少の頃から変わらないが、みちる先生を始め先生方が娘の性格を理解してくださり、娘の目線に合わせて接してくれたおかげで、挑戦する力、頑張

る力、一人でやってみる力がついてきたように思う。運動会の頃には娘も泣かなくなり園での出来事やお友達の名前、教えてもらった歌など沢山話してくれるようになった。親の思いとしては娘の個性を潰したくないと思いながらも友達とトラブルになってないかコミュニケーションはとれているか集団行動が出来ているかなど不安の方が大きくなってしまい心配が絶えなかったが、トラブルは本人の経験だと受け止めてくれ、見守りサポートしてくれて本当に感謝する。劇遊び発表会ではうめ組の成長をととても感じた。ただ可愛かったたんぽぽの時とは少し雰囲気が変わり楽しむだけでなく発表する意気込みや観てもらいたい気持ちが伝わってきてみんな少しずつお兄さんお姉さんになってきたなと思った。演目もととても素敵でうめ組らしく見ている楽しい気持ちになり子どもらしく頑張る姿に感動した。これからも娘には多くの経験を通して成長していった欲しいと思っている。

・年少の時は友達の名前を下の名前で数人程度しか言えなかったが年中になってほぼ全員の苗字、下の名前が言えるようになって、その成長に驚いている。園での様子も年少の時はいつも「分からない」ということだったが、年中になってからはまだ少し言葉がおぼつかないが具体的に教えてくれるようになった。先生たち、園長先生、幼稚園のお友達みんなのことが大好きで楽しく園生活を送っている。

・うめさんになってからお姉さんになり、恥ずかしがり屋だった娘も自分の意見を友達に伝えることが増えて、幼稚園から帰ってくると何々して遊んだんだあーと喜んで話してくれることが増えた1年だった。劇遊び発表会では、堂々と発表している姿を見てとても感動した。アソカ幼稚園は命のことを沢山教えてくれるので花にも虫にも優しくする娘を見て見習わないと、私も娘から沢山のことを教えてもらっている。もうすぐきく組になるがさらに成長する娘が楽しみだ。

・年少組の時に集団に合わせることを強制せずに本人の気持ちやペースを尊重してくれたので、年中組になって集団に参加することを本人が進んで楽しめるようになった。あせらずゆっくり見守ってくれることに感謝する。毎回行事の前は担任の先生も親も不安だったが本番では嫌がらずに楽しんで参加していて大変良かった。

・年少の頃の運動会ではみんながダンスをしている中、砂いじりをして、ちゃんと参加できなかったが、今年の運動会では最初から最後まで集中して取り組んでいたのととても嬉しく思った。また、劇遊び発表会では堂々と演技することが出来るととても誇らしく思った。普段家ではあまり幼稚園のことを話してくれないのでちゃんとできているのか心配だったが、本番ではちゃんと出来ていたの親の知らないところでちゃんと成長しているんだなあと思った。今年は妹も産

まれ益々お姉さんになってきたので、人に対する接し方もやさしめが変わってきたようだ。まだ、思うようにならないことがあると、だだを、こねる時もあるが、先生方があたたかく辛抱強く見守ってくれたお陰で毎日楽しく幼稚園に行けている。

・歌の振り付けが何より出来る様になり、特に保育参観で見た「ホホホ」はしっかり踊っていて成長を感じた。最近幼稚園で習った歌を家で口ずさんでいる。保育参観ではしっかり集団行動をしている姿を見ることが出来て安心した。思い通りにならないと泣きわめいたり、発音が悪かったり、迷惑をかけるがこれからも指導をよろしく願いたい。

今年度より入園させてもらい場所見知りする娘を少し心配していたが最近では好きな友達も増え友達へ手紙を書きたいと子ども同士での交流を楽しめるようになってきた。教職員の方々は常に娘の成長を見守ってもらい時折、園での娘の様子を伝えてくれるのでいつも嬉しく思っている。親子共々安心して園生活を送っている。

・みんな仲良く育っている。トイレの大小が良く出来る様になり感謝する。食事は、家でも難しいところを教えてもらっている。伸び伸びと育ててもらっている。

・たんぽぽさんの頃から毎日のように「ママ、明日幼稚園ある」と確認してくる。ようやく開催されることになり楽しみにしていたお盆の集いが雨で中止になってとても残念だった。みんなで浴衣や甚平の話しで盛り上がっていたので、今年こそ開催出来るといいなと思う。運動会でのほがらか森に昨年からずっと憧れていたのも家でもハチさんを沢山練習していた。お兄ちゃんお姉ちゃんも経験してきているので3人で歌ったり踊ったり楽しそうに微笑ましかった。どの行事も一生懸命取り組んでいて楽しそうな姿を見せてくれるのできく組さんでの成長を楽しみにしている。

・年中1年間で1人で出来ることが沢山増えとても成長を感じた。友達とも仲良く遊んでいるようで安心した。消極的な性格で自分から仲間に入っていったり思っていることを伝えたりすることがなかなか難しいようで、時々うまく遊べなかったことがあるが、幼稚園は楽しいと言っているので良かった。そんな性格を先生は理解してちゃんと見てくれて、園での様子を報告してくれるので有り難い。クラス通信や写真などでも園での様子が分かるので安心だ。

・「先生、先生」と先生の後ろを追いかけていた子が、沢山の友達と元気に遊ぶようになった。集団での劇も上手に出来ていて驚いた。うめ組でもずいぶん成長を感じた。日々の丁寧な保育に感謝する。保育参観の機会もあり嬉しかった。ただ、当日の流れや場所など事前に連絡があったら助かった。可能ならば連絡方法を統一して欲しい。

・小さい時から人見知りですごく緊張するタイプだったが、うめ組さんになりほがらか森のちょうちの役や劇遊び発表会でセリフを言ったり踊ったり出来る様になり、自信を持って出来る姿を見て私も嬉しかった。家では食が細く好き嫌いの多い子だが幼稚園ではお弁当を残さず食べられるようになり嫌いな物も食べてみようとチャレンジ出来るようになった。縄跳びやうんていも、あきらめず練習して出来る様になったことを嬉しそうに報告してくれる。1年間で心も体も成長したなあと思う。幼稚園に入園してからあっという間に2年が過ぎ、残り1年と思うとさみしい。朝登園すると園長先生が元気に迎えてくれ、可愛いみちる先生に癒やされ仕事帰りにはくじら組の先生方が優しく接してくれいつもあたたかい気持ちになる。

・イベントや保育参観があると娘の成長や様子が良く分かりとても安心出来た。年少組の時とは明らかに違いを感じたのは友達と遊び、集団での行動も周りを見たりしながら行えて特にイベント事では個別に先生の手を借りずとも、出来ることも増えている。よくよく見ていると娘の不得意分野であるコミュニケーションに不安はあるが、少しずつ成長しているので見守って導いていけたらいいなと思う。

・まだまだコロナ禍だが感染の増加もなく通常に園生活を過ごせること、先生方にとっても感謝する。今年は教室での参観もあり、普段の様子が見られ嬉しく、また有り難いとしみじみ思った。来年度もまだ復活出来ていない行事が少しでも戻ることを願う。

・1日のほとんどの時間をアソカ幼稚園で過ごしているので貴園での教育、指導の影響は大変大きいと感じている。息子に関してはこの1年大きな事故やけがもなく過ごすことができ幼稚園の皆様の対応に改めて心から感謝する。毎日幼稚園どうだったと聞くと「楽しかった」という答えが全てだと思っている。

・たんぽぽの頃に比べるとすごく成長したことが分かる。体力面なども、もちろんだが、家でも園でやっているよう工作を楽しんでやったり、園でのことを上手に話してくれるようになった。まだ、現実と空想をごちゃごちゃにして話すのでよく分からないことも多いのだが何も伝えてくれなかった頃と比べると様子が分かる様になり、聞いていて楽しい。

・園外保育がとっても楽しいようで月1回あることをとても嬉しく思っている。日頃も楽しく通園出来ているので先生方にも感謝している。

・年中の今年は1年を通して登園することができ「幼稚園へ行かせている」と実感できた。息子は園で過ごす時間が増え嬉しいことや嫌なこと色々経験しているようで降園の時には機嫌が良かったり悪かったり…。年少の頃は自分の気持ちをあまり出せなかった様なので、良かったのか…。でも親としては困惑することが多かった。息子のことで心配ごとがあれば直ぐに声をかけさせてもらえる、

子どもに合った必要な声掛けをしてもらえる環境で、今年も幼稚園には助けをもらうことが一杯あった。毎日「早くして」と同じことを言っているが前には時間がかかっていたことを今はスムーズにやっけて、成長を感じることもある。登降園の時、園長先生が立っていて挨拶してくれるが気分が恥ずかしいのか返事が出来ない息子。私が勝手にプレッシャーに感じていた時期もあるが少しずつ声を出したりタッチしたりするようになってきた。今できないことやらないことばかり気になってしまいが長い目で見守ることを忘れないようにしたいと思う。

・年中より転園したが初めは行き渋りがあつたり途中には出産もあつたりでほとんど幼稚園に通えなかったが今では幼稚園に通うのを楽しみにして嬉しい限りだ。年少(他の幼稚園)の時は幼稚園で何をしているかもはっきり教えてくれず日常生活があまり分からなかったが、今はしっかり教えてくれる。「〇〇先生とお話しをした」「〇〇くんと〇〇ちゃんと遊んだ」など聞くこちらも嬉しくなる。1番成長したと感じるのは先生が親に伝えることを口頭で言われたことを伝えてくれるようになったことだ。明日からは〇〇がいないって言っていたよ。など連絡にはないことを教えてくれるのでしっかり話を聞けるようになったんだと感激した。

〇年少組

・入園時に比べ、会話が增多ボキャブラリーも増えてきたと感じている。会話が楽しめるようになった。また、園での様子を話すようになり、とても嬉しい。

・自分でやりたいことが增多家の掃除や洗濯、洗い物など積極的に協力してあげることが増えた。お喋りも達者になり日々の園での様子や思ったこと、自分の意見などお話しや説明が上手になったなど感じる。また、入園前に比べて同世代の子と交流する機会が圧倒的に増えたので遊びの幅がぐんと広がった。園で過ごすなかでお友達とご飯を食べたり、みんなとバスでお出かけしたり、色々な経験をさせてもらって有り難く思う。一年間で1番印象的だったのは、劇発表の時だった。どんぐり時代を見ていて我が子は舞台に立つことが苦手なのかと思っていた。だから劇発表の時はまた泣いてしまわないか舞台からおりてきてしまうかなと不安で迎えたのだが、その心配と裏腹に大勢の人の前で堂々とダンスをし、演技をしている姿を見て、驚き感動した。親が見ていないところで、本人なりにしっかり逞しく成長してくれていることを実感した。

・年少になりプレと比べ幼稚園にいる時間が増え親から離れ子どもたちだけであそぶ機会が増えたことで集団行動が出来るようになってきた様を感じる。仲の良い友達もでき充実した園生活を送っている。同級生と過ごすなかで先生方のお陰で社会のルールが少しずつ分かってきているように感じる。「幼稚園ではこ

んなことやったんだ」と色々な話を聞くと家で一緒に過ごしている時よりもしっかりと行動しているように見受けられ、いい刺激を受けながら過ごしているのだと思う。印象的だったのはブレーメンの音楽隊の公演だ。公演に向けた練習をしていることは話してくれていたものの、何を演じるのかは公演まで秘密を守り通し家での練習も一切しなかったのは驚きとともに成長を感じる出来事だった。担任のみずほ先生は毎日全力で子どもたちと向かい合ってくれており迎えに行った時もしっかりと迎えに来たことを確認したうえで(たとえ迎えに来たのが父親でも)返しているのととても安心して子どもを預けることが出来ている。園での普段の様子は見る機会が少ないので園の便りや毎日掲示される写真をととても楽しみにしている。4月からは学年も上がり同年代か年上しかない状況から、年下が増えるという状況になり園生活を通じどういった成長を見せてくれるか楽しみだ。

・1年前からは想像もつかないほどに沢山成長した一年だった。入園式では上履きを履くことすら拒否していたのに、最近では朝、手を振って教室に上がっていくことが出来る様になりとても感慨深い。たんぼ組においては一斉指示に対応することが苦手な中、先生方には沢山フォローしてもらって少しずつではあるが本人も集団での生活を楽しめるようになってきているように思う。苦手だった牛乳が飲めるようになったり、歌やダンスを楽しめるようになったり、本当に沢山成長を感じられ、支えてくれた先生方は感謝するばかりだ。こんなことが出来る様になった、こんなことをして過ごしていたと教えてくれるのが毎回とても嬉しかった。クジラ組ではお友達の手を借りながら楽しく過ごしているようで私が外で安心して仕事出来るのも、クジラ組のお陰だ。

・幼稚園生活が少し心配だったが、保育参観で普段の生活を見ることができてよかった。運動会や劇遊び発表会などの行事でも知らない一面を見られて成長を感じた。みずほ先生からののはがきには一人ひとりに合ったメッセージが書かれていてとても感心した。そして子どもと一緒に全力で遊び向き合う姿にいつも元気をもらっている。

・一年間沢山の成長を見ることができた。特に印象に残っていることは劇遊び発表会だ。家でも幼稚園でも沢山練習していたので本番を迎えた時にはとても感動した。年中さんでも一年間、沢山の成長と沢山の楽しい思い出が出来ることを楽しみにしている。

・入園する前から幼稚園に通うことを楽しみにしていた娘。入園当初は少し不安そうな時もあったが、毎日にこにこ笑顔で帰ってきて、とても楽しく幼稚園生活を送っているようだ。劇遊び発表会で堂々と大きな声で歌ったり、踊ったりしている娘に感動した。来年はアソカまつりやお餅つきなどコロナで中止になっているイベントを経験できればなあと思う。

・コロナ禍での園行事が徐々に再開され、運動会劇遊び発表会に参加出来たこと非常に有り難く思う。あとはマスク生活が早く終わることを願うばかりだ。

・家では何でも「ママ」と甘えん坊でお友達ともうまく関われるのかなと心配だったが、行事や参観日で先生の話をしっかり聞いていたり、いすに座っていたりすると、幼稚園では約束を守っている姿を見てとても安心することができた。家では食に興味のない息子が、ランチで食べた、ほうれん草が美味しかったようで、家でもぱくぱく食べられるようになったり「これ幼稚園でも食べられたよ」と自慢してくれたりするようになった。これも先生方の声かけや友達から沢山刺激をもらっているお陰だと感じる。この1年で自分らしく伸び伸びと成長出来た。

・入園したての頃は「幼稚園行きたくない」と言って良く泣いていたのだが、お友達も出来て直ぐに幼稚園が大好きになったみたいだ。みずほ先生のこと大好きなので毎朝寝起きでぐずっている時に「みずほ先生が待っているよ」と言うとスムーズに起きてくれる。

・みずほ先生が元気で子どもも楽しく幼稚園に行けた。上の子が通っていたころと比べて行事が減ったけど仕事をしている親としては負担が少なくて良かった。

・どんぐりクラスでは、行き渋り集団行動に興味がなく、参加することが難しかったが、年少さんになり徐々に団体行動が出来る様になり成長を感じた。ダンスや歌も家ではほとんど見せてくれないが劇遊び発表会では一生懸命取り組んでおり感動した。また、入園児はなかなか一人ではトイレにも行けなかったが園に通うようになり、すぐに自分で行けるようになった。マイペースな我が子にいつも寄り添い優しく接してくれた先生方に感謝する。

・入園時は緊張気味だったが朝の支度も直ぐに自分で出来る様になり玄関で私の支度が終わるのを待っていてくれるようになった。幼稚園で覚えた歌を良く歌ってくれて教えてくれる。今年度は久しぶりに家族全員で劇遊び発表会を観ることが出来て兄たち3人が、娘が一生懸命歌ったり踊ったりしている姿を生で観てとてもほめていた。

・初めての幼稚園生活、楽しんで行ってくれるのか不安だったがまずは午前保育からとならしてもらってすんなりと幼稚園に行くことができた。初めの頃は幼稚園に行くまでの朝の準備も手がかかり「靴下履かせて、ボタンできない」と言っていたのに自分で支度をするのを幼稚園で教えてもらってから自分でボタンの練習をやり、ゆっくりだが身支度が出来るようになった。お迎えの時、今日何したのと聞いても「分からない」と答え、まだまだ言葉もはっきりしていなくてたんぽぽ通信でしか様子が分からなかったのに今はお友達の名前も覚え「○○ちゃんと砂場で遊んだの」「ハサミを使ったよ」等、今日の出来事を話せるよう

になり、子どもから様子を聞くのが楽しみだった。幼稚園が本当に大好きで早退したくないと大泣きした時、担任の先生だけでなく他の先生方も名前を呼んで声を掛けて対応してくれ、先生方みんなで見守ってくれているのだと安心して子どもを通わせられる幼稚園だと思った。本当に有り難かった。また、子どもがそんなにも幼稚園生活を楽しんでいるんだと言うことが分かった。

・次男は保育園に通っていたこともあり、4月からくじら組に預けて初めは大丈夫かなと思ったがスムーズに通うことが出来楽しんで友達と遊んでいる姿が伺えた。仕事をしているので安心してくじら組に預けることが出来とても助かった。何かあったらすぐに職員間で共有してくれたり、息子たちの様子を気付いたら伝えてくれたり、連携を取る事が出来て良かった。

・劇遊び発表会ではみんなが長い歌やダンスをちゃんと覚えていて先生が補助することもなく何よりも全員が楽しそうだったのが印象的だった。保育参観は本人欠席で参加出来なかったが、最後に普段の様子やカスタネットなど1時間のなかで凝縮した内容でとても良かった。

・色々な体験を通して成長できたことが良かった。年少の時、運動会や劇遊び発表会など歌を楽しそうに歌ったり踊ったりして見せてくれて一つ一つの行事を終える度に成長を感じた。

・プレから通っていることもあり、なかよしの友達も多く時間が長くなってももっと幼稚園に行きたいと、毎日楽しく通って頼もしくなった。トイレがうまくいかず行き詰まっていたが幼稚園でみんながトイレをしているのを見てやる気が出て積極的に自分からやるようになった。友達の影響力に驚いたと先生たちも細やかに促したりコツを教えてくれたりして、スムーズにオムツが取れて安心した。お弁当も最初はあまり食べてくれなかったが完食することの喜びを先生たちから教わり完食すると先生に見てと言ってほめてもらえるのが、モチベーションになり沢山食べるようになった。プレの時は発表会やダンスなどは、恥ずかしいのか、全然出来ず心配だったが、運動会や劇遊び発表会でダンスなどを一生懸命やっていて感動した。入園当初から比べるとお喋りがすごく上達し自分の意見や思いをきちんと言葉で伝えることが上手になり意思疎通がスムーズに出来る様になった。

・入園当初は毎日泣いていて園舎に泣き声が響き渡るほどだったが行事をこなす度に自分に自信がついてきたのか泣くことがなくなり楽しく過ごすことが出来るようになった。劇遊び発表会では自信を持って前に立つことができ、とても成長を感じた。我が子の「泣き」に付き合ってくれた先生方に感謝だ。来年度も楽しく過ごせるといいなと思っている。

・入園時は不安なことも沢山あったが多くの方々にサポート、アドバイスをもらえたことが嬉しかった。〈入園から現在までの子どもの成長〉物心ついた時から

一切の子どもだましが通用しない子で「あとで〇〇しようね」の大人の逃げ(悪気のないことも含め)は使えない。イヤイヤ期やトイレトレーニングの不安を先生に話して見ると園では日々頑張っている様子を伝えてくれた後、家では少々の甘えを聞いて見てあげても大丈夫だとのアドバイス。早速行動に移して見たところ家でゆっくりする時間は、子どもの頑張りに繋がっているのだなと実感できた。休みの日にも幼稚園を楽しみにしている様子も親としても微笑ましいことだった。歌やダンス、絵本も前より大好きになった。最近「なんで」が増えて答えるうちに自分で考えて行動できるようになってきた。

・息子は幼稚園での活動はしっかり参加ができる様で安心した。どうしても、いつもと違う雰囲気は苦手なので実力を発揮出来ないきらいはあるが、それなりに運動会にも劇遊び発表会にも参加できていたのが良かったと思う。先生方のサポートが大変有り難く、息子をちゃんと理解してくれているということが嬉しく思う。

・落ち着きがなく単独行動が多かったが今では周囲に合わせ行事に参加している姿を見て成長を感じた。他学年との交流も刺激を受けているようで「もうすぐうめ組だから優しいお姉ちゃんになりたい」と話している。

・とにかく園が大好きな娘。それでも入園当初は色々心配していた。親子共々、生活リズムが少し慣れてきた頃に夏休みに入ったので、園を通る度になぜ自分が園に行けないのか説明しても、あまり理解出来ず悲しい顔をしていたのを今でもよく覚えている。それが、最近の冬休みは「たんぽぽ組はお休みだから行けないね」と理解していて驚いた。成長は沢山あるが、その中でも「たんぽぽ通信」をもらってから自分でも書きたいと文字を書くことに興味を持ち始め、今では読み書きが出来るようになった。これは絵本など活字では得られなかった直筆ならではの温かみが本人に伝わっているからだと思う。毎週時間をかけて書いてくれる先生に感謝する。また、アソカ幼稚園だからこその印象は除夜の鐘体験だ。1月1日、私の誕生日に、家族で鐘を鳴らした後「ママ、誕生日おめでとう」「ありがとう。ママは、ばあーばあが産んでくれたから、ばあーばあに、ありがとうなのよ」と何気なく会話をしていると「ママ、産んでくれてありがとう。大好き」とまさかのオーム返しがきたので2023年は涙からスタートした。これも「命」について園の教えてくれているお陰だ。

○どんぐり組

・はじめは不安そうな顔をしていた我が子も先生やお友達と過ごす楽しさを知って今では毎週どんぐりクラスを楽しみにしている。運動会や遠足など、どんぐりクラスの行事も沢山あって子どもと一緒に楽しく参加することが出来た。優しい先生方と沢山の友達、幼稚園のお兄さんお姉さんと関わって嬉しそうな

我が子を見られて私も嬉しかった。

・毎回笑顔で「今日も元気に来てくれて有り難う」と子どもに言ってくれること子どもだけでなく心があたたかくなった。母子分離になり子どもの様子を詳しく教えてくれ感謝している。

・昨年5月にドキドキワクワクしながら初登園したのがとても懐かしく感じるくらいあっという間に今日という日になってしまった。3名の先生が優しく親切に接してくれるので息子も毎週楽しく登園できている。毎月盛り沢山のイベントがありどれもとっても楽しかった。なんでも12月に行われた「どんぐり発表会」はみんなとっても可愛らしく心が温まりウルウルしてしまった。劇もみんながちゃんと参加出来るように名前を呼ぶシーンがあり素晴らしいなと思った。どんぐりさんとして登園出来るのも残り少ないが元気に登園出来たらなと思っている。

・週に1回という少ない機会だったがプレが始まる前の不安や心配していたことが吹き飛ばすくらい娘が積極的にクラスに溶け込んでくれたので安心した。特に印象に残っている行事は発表会だ。まだ2～3才の子どもたちが一生懸命に歌ったり踊ったりしているところを見て感動した。先生方もとても優しく丁寧に接してくれ、娘を安心して預けることができ、4月からの年少さんも楽しみにしている。どんぐりクラスが大好きな娘もたんぽぽクラスになりたいと張り切っている。

・運動会。親子競技もいくつか出来て一緒に楽しめたのは子どもにとっても良かったよう。魚釣りで釣った顔の形のカラフルなマスコットは個人的にとっても怖かったように見るだけで大泣きするため今もお蔵入りしている。秋の遠足。途中で抱っこと言わずに頑張って最後まで自分の足で歩けた。製作で作った蝶々はその後も家や家の近くの公園で遊べたりして良かったと思う。最近作った凧も公園で遊んで楽しんでいた。発表会。どうなるのか不安だったが、幕が開くときちゃんとみんなが覚えてしっかり踊り返事やセリフも言える子がいて形になっていてとても感動した。本人も元々踊ったり歌ったりすることが好きなので思う存分発揮出来ていて良かったと思う。絵本の貸し出し。ひらがな・カタカナが好きな様で2歳半の頃には全て読めるようになっていたので最近自分一人でも読んだりして楽しんでいる。家に無いような本も色々読めるのでとても嬉しい。全体。男性が苦手なこともあり、初めの頃は園長先生が来ると背を背けたり隠れたりしていたのが、朝、門のところで大きな声で「おはようございます」が言えるようになり、先日の帰りに、ふと、自分から園長先生に「さようなら」を言いたいと言った時は、大きな成長を感じた。まだまだお迎えに行くと泣くこともある(活動中での我慢や驚き、少し嫌だったこと、引っ込み思案なタイプなので出来なかったことなどが原因と思われる)が先生方のサポートのお陰で園での生

活に少しずつ慣れてなじめてきている様子が見られる。先生方の名前を覚えている。トイレも少しずつ出来るようになり本人もちょっと自信がついたようなので今後も一緒に頑張ろうと思う。

・母子分離を始めたばかりの時は泣いたり幼稚園に行きたくないと言ったりしていたが、お迎えに行くと笑顔で楽しかった、と駆け寄ってきて一人でトイレに行けたよ、クツも一人で履いたよと話してくれる様子を見て家では頑なに一人では出来ない補助を求めていたのに…とその成長ぶりにとても驚いた。また、幼稚園で遊んだ話や出来事を聞いていると先生方の配慮や心遣いを感じることも多く母子分離に際しては不安に思っていたことも沢山あったが、安心して「子から離れる」ということができ親子共々成長出来た貴重な一年となった。

・どんぐりクラスに入ることが出来て最初は友達と仲良く出来るか、みんなと同じことをしたり、先生の話ちゃんと聞いたり出来るか、等を心配していたが、前半は楽しんであっという間に終わった。娘も私もとても楽しませてもらい、いい思い出になった。後半は、母子分離で娘はしばらく「母ちゃんと一緒に行くの」と泣いていたが思い返すとこの頃から遊んでいる友達と物の貸し借りを始め、本の時間や歌の時間も参加出来るようになった。2月生まれでトイレトレーニングをのんびりしていて、パンツを履いても「おもしろしちゃうから はきたくない」と言っている時期もあったが冬休みが終わってから急にトイレトレーニングも進んでいる。遠足・運動会はとても楽しかった。火・木合同の時間は公園友達もいて毎回楽しかった。先生方が一生懸命考えて準備してくれたんだなあと思ひ有り難かった。

・初めての集団生活で人見知り場所見知りがひどい息子がなじんでいけるのかとても不安に思いながらどんぐりクラスに通い始めた。他の友達と比べるとまだまだ母親の後ろに隠れていることも多く母子分離もまだまだで、本人は幼稚園の歌とダンスが大好きで覚えて家で踊ったり幼稚園で作ったものを家で嬉しそうに並べたりしている。わすれんぼうパパの歌は特にお気に入りでもよく歌ってくれる。今日はこれが楽しかった。次はこれがしたいという話しもするようになり、自分で楽しみを見つけて通えるようになった。最近では早く幼稚園に行きたい、と言うようになり私自身がとてもびっくりしている。先生方はいつも息子のペースに合わせてくれ、手を煩わせることが多い息子をあたたく見守ってくれ、本当に感謝している。どんぐりクラスに通わせて本当によかった。行事のなかでも特に運動会は楽しかったようで運動会が終わってからも、また運動会やりたい、今日は運動会じゃないの、と運動会の話ばかりしていた。大勢でのイベントなどがあまり得意ではないと思っていたがこんなにも楽しそうな息子の姿を見ることができとても嬉しく、感動した。

・貴園に通うようになってから、たくさんのお話をしゃべるようになり、また挨

撈を含めた周囲とのコミュニケーションも積極的に取れるようになった。日々のイベント(遠足・運動会・誕生日会など)も大変楽しみにしており、新しいことを学んで少しずつ成長していく姿が微笑ましい。

・娘は、団体での活動が初めてだったので入園してしばらくはお友達と交われず一人で遊ぶことが多かったが、今は友達のなかに入っていけるようになり、色々な面で1年間の成長が見られたことは、とても喜んでいる。印象に残っていることは山頂公園に遠足に行った時、夢中でどんぐりを拾っていたことが可愛く思えた。後3ヶ月で年少さんだが、この1年間はあっという間だった。年少さんになっても沢山の友達と遊び、嫌なことも楽しいこともあるが、学びを楽しんで欲しいと思ひ。

・始めの数ヶ月は団体行動に馴染めずにいたが日を迫うごとに友達や先生と上手にコミュニケーションがとれるように成長していて感動した。また、トイレに一人で行けるようになったのもとても成長を感じた。発表会ではダンスを披露なんて出来るのかと思っていたが、友達と一緒に一生懸命やっている様子がとても印象的だった。1年間でこんなに成長するんだと驚きだった。これからの幼稚園生活も楽しく過ごしてもらえそうだと思います、安心出来た。

・9月からプレ保育に参加し、始めは私と離れることが出来ず泣いてばかりだったが先生方が優しく寄り添ってくれたので年明けからは「幼稚園楽しかった」「もう一人で大丈夫」と言うことが増えた。迎えに行くと友達や先生と楽しんで過ごしている姿にとっても安心感と嬉しさがある。どんぐり運動会・発表会等一年を通して楽しめる行事があることに魅力をとっても感じる。発表会ではちびっ子たちが劇をしている姿が可愛く成長を感じた。4月からも友達との関わりのなかで一歩ずつ成長出来れば良いなと思う。

・娘はいつもお姉ちゃんと一緒に一人になると急に人見知りしてしまうが、どんぐりクラスではすんなり母子分離ができ成長を感じた。走ったり運動したりすることは、少し苦手そうだが、どんぐり運動会は頑張っており、嬉しそうに参加出来てよかった。

・母子分離でなかなか離れられない時も「無理しなくていいですよー」声掛けしてもらい気が楽だったお陰で今では自分から離れ母を追い出すようになった。あきこ先生、のりこ先生、りか先生、3人揃ったどんぐり組は安心感があり、兄たちもどんぐりからお世話になっていたのも色々な話しを聞いてもらえて、ほっとする時間だった。どんぐりが終わって先生たちとゆっくり話せなくなるのが、さみしい。

・お話しが上手になり言葉でのやりとりが増えた。会話が面白く話していて笑ってしまうことが多く楽しい。絵が上手になりいつの間にか目や口・体・足・手を描ける様になって驚き成長を感じた。友達と一緒に遊ぶ姿が増え、嬉しく思

う。行事では集団行動ならではの子どもの個性が見られて楽しかった。

・週に1回活動だが娘にとってとても楽しい時間のように、毎週登園を楽しみにしている。母子分離になり、なかなか様子を見ることはできないが、やっと言葉にして今日何をしたか、誰と遊んだか等、伝えてくれるので私も聞くのが楽しい。運動会や遠足は親子で参加できて、普段とは違う遊びが出来るので親子共に楽しく活動できた。発表会は大丈夫なのか心配していたが、親が思っていた以上に踊ったり先生の指示を聞けたり、すごく成長を感じた。どんぐり組でつくる工作も親と作らない物を作り、ペットボトルのライトや空き容器で作った水遊び道具は今だに気に入って遊んでいる。